

平成27年度地下開発利用研究センター調査研究活動に関する  
技術課題・テーマの公募について

平成26年 6月25日

一般財団法人 エンジニアリング協会  
地下開発利用研究センター

当センターでは、公共的かつ先導的・共通基盤的な課題等について幅広く産・学・官の英知を結集してプラントや機械システム等の新技術に関する調査研究を行い、今日的な社会的諸問題の解決、将来の望ましい社会システムの構築等に資することを目的として、公益財団法人JKAの競輪補助金による、「エンジニアリングに関する調査研究」を始め、国、政府関係機関、地方公共団体等からの補助事業、助成事業及び受託事業を実施しております。

この活動は、以下のようなメリットがあることから、会員企業のご好評をいただいております。

- ・ 他業種、他企業の協力を得ることができる
- ・ 産官学の連携により、さらに業種を越えて総合的な調査ができる
- ・ 情報交換などを通じてニーズ側、シーズ側の協調ができる
- ・ 調査研究の成果に客観性が認められ、社会的な諸問題の解決に有効であり社会的な評価が得られるとともに成果の普及や次の展開に結びつきやすい
- ・ 一定の補助金等が得られる

このたび、平成27年度予算要望に当たり、当センターの調査研究活動に関する技術課題・テーマについて広く公募を行うことといたします。

テーマ提案にあたっては、別紙1の“提案要領”に基づき、別紙2の“テーマ提案書の様式”により平成26年8月1日(金)(17:00 必着)までにご提出下さるようお願いいたします。

平成27年度地下開発利用研究センター調査研究活動に関する  
技術課題・テーマ公募要領

1. 調査研究の目的:

公共的かつ先導的・共通基盤的な課題等について、幅広く産・学・官の英知を結集して、プラントや機械システム等の新技術に関する調査研究を行い、今日的な社会的諸問題の解決、将来の望ましい社会システムの構築等に資することを目的とします。

2. テーマの種類:

公共性が高く先導的で単独企業のみでは取り組み得ない共通基盤的な社会開発システム等に関し、企業の知恵を結集する新しい技術や新しい技術利用展開、システムの調査・研究を行うものです。

テーマは技術課題、特性、調査研究手法、調査研究規模等により以下のように分類します

① A型テーマ

新技術・新システムなど、主に概念設計・基本設計や必要に応じて基礎実験等を行うものです。

- \* 地上・地下の組み合わせ、あるいは使い分けを含むシステム、コンセプト、エンジニアリングなどの調査研究要素を有するものを対象とします。
- \* 地上・地下空間に係るエネルギー合理化、新エネルギーの普及、循環型社会の形成、環境対策、都市の再生、産業の活性化、情報化の進展、バイオ技術の進展、新たな産業の創出発展、雇用の創出などの重要政策に沿うものを狙いとします。
- \* 提案テーマ及び内容が具体的で、調査研究の成果が将来、国内外の普及に結びつき、技術的・社会的に貢献することが期待されるものを特に期待しています。

<補助事業での1テーマ事業予算:約 1,000 万円/年、期間:1~2年>

② B型テーマ

国内・海外の具体的な地域特性に着目した社会開発プロジェクト等に関し、エンジニアリング技術を結集して地域開発等の構想策定や事業性検討、フィージビリティスタディ等の調査を行うもの。

<補助事業での1テーマ事業予算:約 500 万円/年、期間:1~2年>

3. 望ましい技術課題・テーマ:

- ① 共通基盤的な技術に係るもの  
(特定企業や個別業種の枠を超えた横断的な分野など)
- ② 広く産・学・官及び異業種交流等により検討されるもの  
(委員会等を設置して多方面の意見を取り入れるなど)
- ③ 調査研究の成果が将来における官民のプロジェクトに結びつく可能性の高いもの

4. 提案テーマの審査:

- ① 地下開発利用研究センター(以下、当センター)に設置されている「研究企画委員会」において提案企業匿名で審査を行います。
- ② 審査基準は、①社会的課題の解決策、②事業の目標と効果、③事業の新規性と発展性、④機械工業振興との関連性等です。
- ③ 審査結果から、エンジニアリング調査研究には、該当しないが、当センターとして、別途受託テーマ等に応募が可能と考えられるテーマにつきましては、個別にご相談させていただきます。

5. 締め切り等:

- (1) 提出期限 平成26年8月1日(金)(17:00必着)
- (2) 提案書本文は、A4版3～4枚程度にまとめて下さい。また、別途、概念図等を添付して下さい。提案書ファイル(MS-Word形式)をE-mailでご提出下さい。なお、提出された提案書の内容について当協会事務局でヒアリングを実施させていただきます。

(3) 問い合わせ・提出先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 虎ノ門マリビル10階

(一財)エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター

技術開発部 研究主幹 竹東 正孝 宛

E-mail: taketsuka@enaa.or.jp

TEL : 03-5405-7203

FAX : 03-5405-8201

## 平成27年度技術調査研究に関するテーマ提案書

提案者 会社名  
 所在地（〒）  
 所 属  
 氏 名  
 E\_mail  
 TEL No.  
 Fax No.

## 1. テーマ名

テーマの種類
A型 ・ B型

## 2. 調査研究の背景及び目的（調査研究の必要性など）

3. 調査研究内容（調査研究の着眼点、現状—課題—対策など）を**具体的に**A4用紙で3～4枚程度で記述してください。

また、必ず、概念図（ポンチ絵）を1枚以上添付してください。

なお、必要に応じて参考資料を適宜添付してください。

## 4. 調査研究期間

(1)○年間

(2)調査研究スケジュール概略表：（スケジュール概略表の作成例を下記に示します）

- ・ 事業開始時期は概ね6月頃となります。
- ・ 年度毎の「報告書の原稿作成完了時期」は、3月初旬が目処となります。

	平成27年度						平成28年度						
	6	8	10	12	2	3	4	6	8	10	12	2	3
研究会開催	○			○		○	○			○		○	
文献調査	→	→	→	→									
基礎実験	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
実験結果分析				→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
報告書作成						→							→

5. 調査研究経費

〇〇〇〇千円／年 （概算）

6. 当該テーマの自己評価

(1) 社会的課題と解決策

(2) 事業の目標と効果

(3) 事業の新規性と発展性

(4) 機械工業振興との関連性

以 上